


クラス	C105	担当教員	にしむら かずひこ 西村 一彦
			データを採って分析する
	著書・論文  研究課題等		一般均衡モデリング、経済統計
<b>ゼミナール概要</b>			
<b>キーワード：外書講読、データサイエンス</b>			
<p>経済研究はサイエンスだ。そのサイエンスは計測だという考え方がある。計測は当然、統計学に基づく。ということで、本ゼミナールでは、データサイエンス（統計学）の基礎を学ぶ。情報化の進んだ今日、データサイエンスに関するスキルはますます重要になるだろう。もちろん、経済学部<small>の</small>講義科目には、統計学も計量経済学もある。それらと小さい何<small>が</small>違うのか。本ゼミナールでは、講義とちがい、英語の文献を用いてデータサイエンスの基礎を学ぶ。つまり、英語も統計学の数学も一石二鳥で習得することをねらっている。</p> <p>ここで、ただでさえ英語があまり得意でないのに、英語で数学をやるなんて自分には到底無理、などと考えるいではない。数学を英語で勉強するほうが、日本語で勉強するより、実はよほどわかりやすいのだ。それは、もともと英語の概念を日本語に訳しているのだから、当然だろう。ましてや、統計学や計量経済学は日本語です<small>で</small>に学んだことのある内容だ。ある程度の知識のあることを英語で学びなおすことは、理解を深めることにつながる。</p> <p>ゼミナールは外書講読の形式をとる。つまり、英語の文献についてあらかじめ担当部分を読んでおき、資料などを作成しておく。ゼミナールでは文献を音読し、日本語で内容の説明を行う。</p>			
		<b>担当教員からのメッセージ</b>	
未定		いっしょに楽しくゼミを盛りあげていきましょう！	